

鮫川村施設見学

〇鮫川村の4施設について

9月4日(月)に1年生は村内にある「ゆうきの郷土」「さざり荘」「手・まめ・館」「ほ場」の4施設を回り、たくさんの事を学んできました。どの施設でも生徒たちは真剣な眼差しで説明を聞き、気になるところを積極的に質問していました。学校からタブレットを持っていったこともあり、いろいろなものを写真に撮り質問している様子はまるで新聞記者のようで頼もしかったです。

〔ゆうきの郷土(さと)〕

鮫川村の基幹産業である農業の振興と、「SDGs」の象徴として循環型農業の核となる良質堆肥を作っている施設です。バイオマス資源を原料に、鮫川村の農家に販売し、地元に還元することで「循環」させているのだそうです。写真は「エアレーション」を行っている様子です。重機の迫力に圧倒されますが、こうした作業を繰り返すことで空気が良く混ざり、発酵が進むことでさらさらの良質な堆肥となるそうです。生徒たちもこの作業には言葉を忘れ見入っていました。



〔さざり荘〕

鮫川村の保養施設として多くの人から愛されている施設です。村内の薪を使ってお湯を沸かす薪専用のボイラーが4台あり、源泉の温度32℃を適温まで温めているそうです。効能はたくさんあるそうですが「つるつるの肌」になる効果があるそうです。

写真は施設長より施設の歴史や、設備、環境への取り組みなどのお話をいただいている様子です。生徒の後ろ姿からも真剣な姿勢が見てとれるのではないのでしょうか。生徒たちはこの後、薪専用のボイラーなど館内の施設を見学し、お風呂の前にあるランタンや修明

高校から寄贈された暖簾など熱心に写真に収めていました。

〔手・まめ・館〕

おいしい野菜や果物、パンやお惣菜を手頃な価格で販売している直売所だと思っていましたが、味噌や豆腐、おからドーナツや納豆といった大豆製品を中心に、給食のご飯も作っていることを初めて知る生徒も多かったようです。写真は豆腐加工場の様子です。整理整頓された厨房の中はとても清潔で、道具類もすべてピカピカでした。担当者の話によると一般の豆腐より大豆の量が多いため、味が濃くおいしい豆腐だということでした。もちろん製造中の様子を見ることができませんでしたが、鮫川の大豆が多くの人々の力で加工され私たちの食卓に並ぶのだということを実感することができました。





〔ほ場〕

鮫川村の学校給食に使われている米を収穫する田んぼです。雨の中緑と黄金色のコントラストが、バスの中からもとても綺麗に見ることができました。生産者の石井洋平さんからお話をいただき、生徒たちもしっかりと話を聞いていました。このお米は無農薬、有機肥料栽培で生産されており、今年も安全でおいしいお米がもうすぐ収穫されるそうです。農薬は使わずに昔ながらの製法にこだわって作られたお米を給食として食べることができるのは、本当にありがたいことだと思います。生徒たちも稲穂の様子をしっかりと観察していました。

〇八朔踊りについて

翌9月5日は地域の方を招いて伝統ある「八朔踊り」を教えてくださいました。太鼓のリズムに合わせて踊る八朔踊りは優雅で郷愁を覚える素敵な踊りでした。「八朔」とは旧暦の八月一日を指す言葉であり、現在の暦では2023年は9月15日になります。昔はこの「八朔」が重要な節日であり、稲の収穫を目前にしての豊作を祈り地域総出で踊ったそうです。

〔八朔（はっさく）踊り〕

写真は、太鼓のたたき方を習いながらその周りを生徒たちが踊りの練習をしている様子です。指導者として青戸良一さん、カツ子さんご夫婦、鷲野谷弘行（さぎのやひろゆき）さん、強さん親子の4名が学校に来てくださり、直接ご指導いただきました。

見よう見まねで踊っていた生徒たちも、指導者の方から熱心に教えていただいたおかげで、終わりのころには1人で踊ることができるようになっていました。指導中は無駄話もせず指導者の方を真剣に見つめ、手足の所作を学んでいました。太鼓に立候補した生徒もなかなかリズムがとれずに苦労しているようでしたが、正確なリズムを刻むことができるようになっていました。こうした経験を通して、地域の文化がしっかりと伝統として引き継がれていくことを嬉しく思いました。



生徒たちの感想

ほ場を見学して

1年 永山智晴さん

ほ場に行って給食の時に出てくるお米のことが分かりました。話を聞いて薬を使わずにお米を作っていることを知りました。害虫などに負けないで育ったご飯を食べているので、これからも大切に食べたいと思いました。

ゆうきの郷土を見学して

1年 高野詩織さん

ゆうきの郷土で作った堆肥をほ場で使ったり、伐採した木をさぎり荘の薪にしたりと、地域で全てが繋がっていてすごいなと思いました。

八朔踊りは、最初は難しかったけど、だんだんと出来るようになって踊れるようになりました。

さぎり荘を見学して

1年 金澤愛葵さん

私が一番印象に残った場所はさぎり荘です。間伐材や残材などを活用できる薪ボイラーを設置していることが分かりました。サウナやカラオケルームなどもあり、多くの人を楽しめる場所だと思いました。

地域学習を通して

1年 江田彦希さん

僕が地域学習で感じたことはゆうきの郷土とさぎり荘に行っているいろいろな機械を見て、こんな凄い機械を買ったり、上手に使いこなしたりしていて凄いと感じたことです。また行ける機会があれば、ゆっくりと見てみたいです。